

中国・四国支部 30年の歩み

- 昭和 48 年 12 月 2 日 支部設立準備会を岡山市にて開催。日本調理科学研究会理事定森許江を中心に、理事岩貞好、井上タツ、松元エミ子と有志 6 名が参加。研究会副会長大西正三氏を迎え助言を仰ぐ。こののち発起人会 2 回をノートルダム清心女子大学で行う。
- 昭和 49 年 5 月 17 日 設立総会を広島大学教育学部福山分校で行い、初代支部長に定森許江を選出し支部会則を施行する。
- 昭和 54 年 5 月 26 日 第 6 回支部総会において、付則の事務局所在地を『広島大学教育学部福山分校』から『支部長のもとに』と変更とし、昭和 55 年 1 月 1 日施行とする。
- 昭和 57 年 5 月 22 日 第 8 回支部総会において支部長に請川琴子を選出。
- 昭和 58 年 11 月 27 日 秋季行事として、シンポジウム『これからの調理教育を探る』を行う（於いて福山市）。
- 昭和 59 年 3 月 3 日 役員会において会員対象にアンケート調査実施を決める（興味ある分野・ニーズ、支部行事のあり方について）。
- 7 月 7 日 日本調理科学研究会本部講演会をノートルダム清心女子大学で開催。第 11 回支部総会において支部長に井上タツを選出。
- 昭和 60 年 1 月 1 日 日本調理科学研究会が日本調理科学会となり、同学会支部となる。
- 昭和 61 年 3 月 1・2 日 役員会において支部活動のあり方について討議。年 1 回案について継続審議とする。
- 4 月 支部会員名簿発行
- 昭和 62 年 10 月 3・4 日 支部行事年 1 回案試行。鳥取市白兔会館において第 14 回支部総会、講演会、試食会（鳥取の食文化と日常食）、懇談会（調理科学の展望）
- 昭和 63 年 10 月 8 日 第 15 回支部総会において支部長に松崎淳子を選出。会則 4 条に名誉会員を追加。定森元支部長を名誉会員とする。
- 平成元年 10 月 7 日 学会本部との整合をはかるため、役員は前年度の総会で承認を受け、翌年 1 月 1 日より就任できるように改める。
- 平成 2 年 8 月 7・8 日 香川大学ゲストハウスにおいて役員懇談会を行い、支部運営について検討する。
- 平成 3 年 9 月 9 日 本部総会で役員選出規則が改正され、副支部長制を導入。
- 10 月 12 日 第 18 回支部総会において副支部長に山崎妙子を選出。
- 平成 4 年 10 月 3 日 第 19 回総会において、支部会則の条文表記を全面改定する。シンポジウム『大学の調理教育を考える』を行う。基礎資料とするため会員向けアンケートを実施。
- 平成 5 年 3 月 8 日 役員会において、学会功労賞に定森名誉会員を推すことを了承。
- 8 月 24・25 日 支部創立 20 周年記念行事を中国短期大学において開催する。支部長に山崎妙子、副支部長に山上ユリ子を選出。
- 9 月 9 日 学会総会において定森名誉会員が功労賞を受ける。
- 10 月 支部会員名簿発行。
- 12 月 記念誌『20 年の歩み』編集開始。第 2 次アンケート実施ののち、平成 6 年 5 月発行
- 平成 6 年 3 月 10 日 役員会において、平成 7 年度全国大会の概要（9 月 20・21 日 於広島国際会議場 大会実行委員長山崎妙子）を了承。
- 10 月 8 日～ 20 周年記念誌の配布と郵送開始。

- 平成 7 年 2 月 19 日 役員会において、全国大会開催の年に当たるため、平成 7 年度の支部行事は広島地区において支部総会を中心として 1 日で行うことを了承。
- 9 月 21・22 日 日本調理科学会平成 7 年度大会を広島国際会議場で開催（参加者 532 名、発表件数 133 件、特別講演参加者 700 名）。
- 11 月 12 日 第 22 回支部総会をホテルサンルート広島で開催。
- 平成 8 年 3 月 16 日 役員会において、学会功労賞候補者として井上タツ元支部長を推すことを了承。
- 9 月 5 日 学会総会において、井上タツ元支部長が功労賞を受ける。
- 10 月 7 日 第 23 回支部総会において、支部長選出に関する申し合わせ事項を追加承認。
- 平成 9 年 9 月 4 日 次期支部長に川染節江、次期副支部長に笠井八重子を選出。
- 9 月 25・26 日 学会創立 30 周年記念大会が開催される。
- 12 月 27 日 事務局交代に伴う引継を広島女子大学で行う。
- 平成 10 年 10 月 17 日 本部会則変更に伴い、従来の常任理事を「理事」に、理事を「評議員」に改正。
- 平成 11 年 3 月 6 日 本部新役員（評議員 5 名）の選出内規を検討し、前年度役員による選挙とする。
- 5 月 新内規にもとづき、本部評議員 5 名（支部長・副支部長を含む）を選出。
- 8 月 支部選出評議員の内 1 名が本部理事となったため、5 月の選挙における次点者を支部選出評議員とする。
- 平成 12 年 3 月 7 日 役員会において、学会功労賞候補者として松崎淳子元支部長を推すことを了承。
- 9 月 9 日 学会総会において、松崎淳子元支部長が功労賞を受ける。
- 10 月 7 日 支部総会において、次期支部長に笠井八重子、次期副支部長に井川佳子を選出。
- 12 月 26 日 役員交代に伴う事務引継をノートルダム清心女子大学で行う。
- 平成 14 年 9 月 6・7 日 学会ポスターセッションにおいて、「中国・四国地方における豆類・いも類の行事食」を中国・四国支部で発表。
- 10 月 4 日 役員会において、支部創立 30 周年記念行事を 8 月 22・23 日に広島市で開催すること、支部 30 周年記念行事の一環として記念誌を作成することを了承。11 月に記念誌担当者（笠井、井川、今田）が会合し、I 部：支部の歴史、II 部：豆類・いも類の利用における地域特性調査のまとめ、の構成にすることなどを決定。支部総会において、次期支部長に笠井八重子を再任、次期副支部長に渕上倫子を選出。
- 平成 15 年 5 月 次期本部評議員 5 名を選出。
- 6 月 支部創立 30 周年記念誌編集終了。7 月に発行。
- 8 月 22・23 日 支部創立 30 周年記念行事を、県立広島女子大学と広島アンデルセンを会場に開催。